

明 表 信 所

令和4年11月11日

君津市長 石井宏子

(所 信 表 明)

本日、令和4年第1回君津市議会臨時会にあたり、貴重なお時間を頂戴しまして、市長就任のご挨拶と市政運営の所信の一端を申し上げ、市民の皆様並びに議会の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに

去る10月23日に執行された君津市長選挙におきまして、多くの市民の皆様からのご信任・ご支援を賜り、引き続き市政を担わせていただくことになりました。

改めて、私に課せられた使命と重責に、身の引き締まる思いであります。

4年前、この豊かな君津を次世代に繋いでいくため、「動き出そう。君津」と呼びかけ、市長に就任してからは、市民、事業者、関係機関のご協力のもと、職員とともに市政運営を行ってまいりました。

一期目の任期中は、房総半島台風からコロナ禍へと、これまで経験したことの無い非常事態の中でしたが、公約の着実な推進と併せ、新たな総合計画を市民の皆様とともに作り上げるなど、輝く地方都市君津の実現に向け、しっかりと「動き出せた」と思っております。

これからも引き続き、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」に向け、日々、前へ前へと、市政を前進させることが、私の最大の責務であります。

「前へ。市政を力強く前進させる。」この言葉を胸に、皆様とともに、二期目の歩みを進めてまいります。

想いと基本姿勢

先人たちが、その時代を懸命に生きながら「未来のために今できること」を積み上げてきた結果が、現在の君津であります。

私たちもまた、「希望に満ちた君津の未来」を創り、それを次世代に繋いでいくため、なすべきことがあります。

私は、これまでのまちづくりを基礎としながら、本市の更なる発展を目指し、次の3つの基本姿勢のもと、市民の皆様とともに、未来に向かって挑み続けてまいります。

1つ目は、「命と暮らしを守り抜く。」ことです。

房総半島台風や、それに続く新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵攻による物価高騰など、市民生活を取り巻く環境は厳しさを増しております。

私は、防災・減災対策の強化、ウィズコロナ移行後の感染症対策や経済対策、生活に困窮されている市民の皆様への支援の更なる強化等、必要な施策を柔軟にいち早く遂行することで、市民の命と暮らしを守り抜きます。

2つ目は、「君津をもっと元気にする。」ことです。

台風被害やコロナ禍を乗り越え、「君津はもっと元気になる」と、前にも増して、強く確信しております。

私は、今年度からスタートした総合計画を着実に推進し、君津の価値と魅力を更に高め、君津をもっと元気にしてまいります。

3つ目は、「対話する市政を継続する。」ことです。

これまで就任以来、市民、議会の皆様をはじめ、企業、学校や大学、研究機関、国・県、他自治体、報道機関など、様々な君津とのゆかりを

結んでまいりました。

たくさんの思い、たくさんの力を次世代に繋いでいく、このことが幸せをつなぐまちづくりであると信じております。

今後も、多くの皆様との対話を重ね、ご協力を得ながら、オール君津で、明るく希望に満ちた君津の未来を切り拓いてまいります。

将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」

「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」は、総合計画に定めた将来都市像であります。

「ひとが輝くまち」とは、市政の主役である市民の皆様が、誰一人取り残されることなく、自分らしく人生を輝かせ、いきいきと暮らすことができるまちであります。

「幸せつなぐきみつ」は、そうした幸せが、多くの人に広がっていくとともに、次世代へ繋がっていく持続可能なまちを意味しております。

私は、この将来都市像を実現し、人口減少に歯止めをかけるため、総合計画に基づく各種施策の着実な実行や、徹底した行財政改革の推進とともに、「いのちを守る。」「暮らしを支える。」「にぎわいを創る。」「未来を築く。」といった新たな視点も交え、引き続き、市政運営に全力で取り組んでまいります。

「前へ。市政を力強く前進させる。」

これからの4年では、ウィズコロナ時代を前提として、社会の基礎的機能を止めず、感染防止・重症化防止・医療体制の充実・感染者支援など対策を継続しながら、経済の再生を力強く後押してまいります。

防災に関しましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、安全安心に暮らすことができるよう、国土強靱化地域計画に基づき、地域ごとの被害想定に基づく対策を強化するなど、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

このような安全安心を基礎としながら、誰もが自分らしく輝けるよう、暮らしを支える福祉施策を充実してまいります。

高齢者や障がい者など全ての人に寄り添う、地域包括ケアの機能充実を図るなど、誰一人取り残さない、地域共生社会を目指してまいります。

元気な君津を実現するためには、長引くコロナ禍でダメージを受けた経済の立てなおしに力を入れなければなりません。

商工観光の振興・農業振興策を大胆に展開し、価値向上やブランド化、消費拡大、関係人口の拡大を図ってまいります。

また、新たな産業の創出に向けましては、起業・創業支援を拡充するとともに、社会的課題を解決するソーシャルビジネスをはじめ、新たな産業のスタートをバックアップしてまいります。

農業は、本市の経済活動を支える重要な産業の一つであることから、多様な担い手が活躍できる環境の整備や安定した農業経営の確立に取り組むとともに、有害鳥獣対策を強化してまいります。

更には、ファシリティマネジメントを推進する中で、旧秋元小学校をはじめ、各地区の公民館等を中心に地域活性化の拠点形成を図るなど、地区の特色や個性を最大限に生かしたまちづくりを進め、にぎわいを創出してまいります。

未来を築く施策としましては、子育て支援を一番に据え、若い世代が住みたいと思えるまちづくりに向け、(仮称)貞元保育園の新設などによ

る保育環境を充実させるとともに、高校生までの医療費の無償化に向けて取り組むなど、切れ目のない支援を行ってまいります。

更には、まちの価値向上のため「環境グリーン都市」を推進するとともに、国の地方創生の動向を踏まえ、デジタル技術の活用により、利便性と快適性を高める「デジタル田園都市」の君津での実現を目指してまいります。

加えて、都市計画マスタープランや立地適正化計画を実行する中で、君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実を図るとともに、君津インターチェンジ周辺の開発に向け、国・県とも連携しながら、君津の未来を拓くエリアとなるよう取り組んでまいります。

おわりに

徹底した経営改革を実施し、「変革」に挑み続け、この4年で君津市役所は大きく変わりました。

立て続けに起きた前例のない事態に臨機応変に対応し、常に市民生活に寄り添い命と暮らしを守るため、その役割を立派に果たしてきました。

これまでの実績を糧に、次の4年も伸び伸びとその力を発揮し、どんなことでも大いにチャレンジし、まずはやってみる「日本一チャレンジする市役所」を目指します。

まちづくりは、私ひとりが行うものではありません。

今後も、総合計画の行動姿勢「むすぶ」を拠り所とし、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、君津に関係する全ての皆様と連携を深め、更には、近隣自

治体との広域行政による施策の充実を図るなど、オール君津で、前へ、前へ、未来へと、歩みを進めてまいります。

市議会の皆様をはじめ、関係機関のご理解と市民の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。私からの所信表明とさせていただきます。